

安全データシート

1. 製品及び会社情報

| | |
|------|----------------------------------|
| 製品名 | ピルビン酸 |
| 会社名 | 株式会社武蔵野化学研究所 |
| 本社 | 東京都千代田区丸の内一丁目8番2号 |
| 担当部門 | 品質保証室 |
| 連絡先 | 電話：03-6810-0241 FAX：03-6810-0146 |
| 整理番号 | P O 1 - 0 1 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | |
|-----------------|------|
| 急性毒性(経口) | 区分5 |
| 皮膚腐食性・刺激性 | 区分1A |
| 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 | 区分1 |

GHSラベル要素



注意喚起語 危険

危険有害性情報 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

注意書き

安全対策

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱後は製品に触れた部分をよく洗うこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚（又は髪）に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡、手当を受けること。

保管(貯蔵)

施錠して保管すること。

廃棄

内容物／容器を適切な廃棄方法により廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

| | |
|-------------|---|
| 単一製品・混合物の区別 | 単一製品 |
| 化学名または一般名 | ピルビン酸 |
| 別名 | 2-オキソプロパン酸 |
| 成分及び含有量 | ピルビン酸 97.0%以上 |
| 化学特性(構造式) | $\text{CH}_3-\text{C}-\text{COOH}$ \parallel O |

官報公示整理番号 (2)-1473 (化審法)

CAS No. 127-17-3

TSCA 登録有り

EINECS 2048243

輸出統計品目 2918.30-000

輸入統計品目 2918.30-200

4. 応急措置

皮膚に付着した場合 製品に触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。
眼に入った場合 清浄な水で最低 15 分間目を洗浄したのち直ちに医師の手当を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、直ちにはずす。
吸入した場合 すみやかに空気の新鮮な場所へ出る。その後医師の手当を受ける。
誤飲した場合 多量の水、または食塩水を飲ませて、すみやかに医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 粉末(ABC)消火器、泡消火器
特定の消火方法 火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 化学用保護メガネ、ゴム長靴、保護手袋を使用する。
環境に対する注意事項 生分解性があるが、酸性物質であるので、河川等への流出を避ける。
除去方法 炭酸ナトリウムまたは炭酸水素ナトリウムで中和した後、砂またはケイソウ土で吸収し、処理用の密閉容器に入れる。少量の場合は、多量の水で洗い流す。廃液は適切に処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意¹⁾

取扱い
技術的対策 酸性液体であるので、保護具を着用し、皮膚等につかないように注意する。
注意事項 特に無し。
安全取扱い注意事項 酸性物質であるので、アルカリ性物質との接触には注意する。
保管
適切な保管条件 遮光した気密容器にて、常温で保管する。
強塩基からは離しておく。
安全な容器包装材料 ポリエチレン、又は SUS-316L 以上の材質

8. ばく露防止及び保護措置¹⁾

設備対策 取扱い場所の近くに、安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具 保護メガネ、保護手袋（ゴム製等）、作業衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态
性状 液体
色 淡黄色～黄褐色透明
におい 特異なにおいがある。
pH 1 以下
物理的状态が変化する特定の温度
沸点 54℃ (1.3kPa)
融点 11.8℃
分解温度 165℃
引火点 102℃ (クリーブランド開放式)
爆発特性
爆発限界 下限： 3.3vol% 上限： 44.0vol%
蒸気圧 0.12kPa (20℃)
比重 d_4^{20} 1.260～1.280
溶解性
溶媒に対する溶解性 水に混和
その他のデータ 金属腐食性 無 (SS400 鋼片、1.73mm/年)

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|----------------------|
| 安定性 | 放置すると分解・重合し、ガスを発生する。 |
| 反応性 | アルカリと反応し、中和熱を発生する。 |
| 避けるべき条件 | 裸火、過熱 |
| 混触危険性 | 強アルカリ、強酸化性物質 |
| 危険有害な分解生成物 | 一酸化炭素 |

11. 有害性情報

| | |
|-------|----------------------------------|
| 急性毒性 | LD ₅₀ 2.1g/kg (ラット経口) |
| 局所効果 | データ無し |
| 変異原性 | 細菌を用いる変異原性試験で陰性。 |
| 皮膚腐食性 | 有 |

12. 環境影響情報

| | |
|---------|-------|
| 残留性／分解性 | 分解性良好 |
|---------|-------|

13. 廃棄上の注意

- 廃棄する場合は焼却によって行い、方法は次のいずれかによる。
- ・ ケイソウ土等に吸収させて、開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。
 - ・ 焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。

14. 輸送上の注意

| | |
|------|--|
| 国際規制 | 特に無し |
| 国連分類 | クラス 8 (腐食性物質) 容器等級 III |
| 国連番号 | 3265 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none">・ 車両等によって運搬する場合は、荷送人は運送人に運送注意書きを交付する。・ 運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 |

15. 適用法令

| | |
|-------|------------------------------|
| 消防法 | 危険物 第四類 第三石油類 (水溶性) 危険等級 III |
| 船舶安全法 | 危規則 第 2 条 腐食性物質 クラス 8 |
| 航空法 | 施行規則 第 194 条 (危険物 腐食性物質) |
| 港則法 | 施行規則 第 12 条 (危険物 腐食性物質) |

16. その他の情報

【引用・参考文献】

- 1) The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data Edition II; Robert E. Lenga
- 2) 危険物防災救急要覧 神戸海難防止研究会・編 成山堂
- 3) 化学便覧 基礎編 改訂 4 版 日本化学会 編 丸善
- 4) 社内資料
- 5) 化学防災指針集成 日本化学会 編 丸善

【問い合わせ先】

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ・ 記載内容の問い合わせ先 | ・ 運送中の問い合わせ先 |
| 株式会社武蔵野化学研究所 | 株式会社武蔵野化学研究所 |
| 営業本部 | 磯原工場 業務部 |
| 電話番号 03-6810-0242 | 電話番号 0293-42-1147(代) |
| FAX 番号 03-6810-0148 | FAX 番号 0293-42-1185 |

当データシートは、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、充分ご注意下さい。